

道沿いガーデン ガイドブック

～緑つながる
まちをつくろう！

Name Midori
Working
Group



はじめに

狛江市では、地球温暖化防止という課題と向き合うために令和3年4月1日に「狛江市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。市民の暮らしを守り、支えていくのに必要な緑という財産の重要性はますます増しております。

この度は、市内の緑化を更に進めていくため、緑ワーキンググループの皆様にご覧いただき、「道沿いガーデンガイドブック」を編集いただきました。市内にある実際の緑化の様子をご覧いただき、「道沿いガーデン」を行いたい却不知道、道沿いガーデンに取り組んでいるがより良くするためにはどうしたらいいのか等、皆様の疑問を解消し、皆様の緑化活動のお役に立ちましたら幸いです。

令和4年3月
狛江市長 松原 俊雄



目次

道沿いガーデンガイドブック ～緑つながるまちをつくろう！

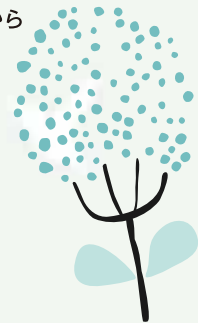
- 01 NPO 法人日本公開庭園機構提唱の「道沿いガーデン」…………… p.2
- 02 狛江における「道沿いガーデン」の推進…………… p.3
- 03 私の庭、庭づくりの楽しみ…………… p.4
- 04 道沿いガーデンQ&A…………… p.9



始めてみませんか 楽しいガーデニングで地域貢献と交流 ～見学会の写真から

◇ タイプ別 道沿いガーデン

- ① ほっとする、緑のスペース…………… p.12
- ② 鉢植えとプランターでつくる、素敵な庭…………… p.15
- ③ 広がる緑と草花…………… p.21
- ④ 人にやさしい庭…………… p.31
- ⑤ 生垣、大木のある風景…………… p.33
- ⑥ 緑豊かな住宅開発…………… p.36
- ⑦ 魅力あふれるバラの園…………… p.38
- ⑧ タネや苗の交換を通して広がる地域の輪…………… p.42



- 緑ワーキンググループの主な活動の紹介…………… p.44
- 狛江市環境保全実施計画 緑ワーキンググループ 活動の歩み（年表）…………… p.47
- 巻末 緑のまち推進補助制度 狛江市環境政策課



道沿いガーデンガイドブック ～緑つながるまちをつくろう！

「道沿いガーデン」とは？

玄関周りや庭先と道路の境界をなるべくオープンにして、季節の花々や木々を道行く人にも楽しんでもらう、いわば「開かれた緑」のことで、NPO法人日本公開庭園機構元理事長の佐藤哲信さんらが提唱したものです。佐藤さんは、「開かれた緑」として「道沿いガーデン」を市民が作り出していくことの大切さを訴えました。

狛江市では「狛江市緑の基本計画」や「狛江市環境基本計画」の中で、狛江らしい緑として農地・樹林地の保全を掲げています。私たち緑ワーキンググループは、そのような安定的な緑を保全・創出するための政策提言をすると同時に、9年間にわたり「市民が作り出す緑」として、接道緑化の素晴らしい事例を紹介する道沿いガーデン見学会や写真展を開催してきました。

また、この1年余りは、アドプト活動として、こまえくぼ1234（狛江市市民活動支援センター）の道路に面した花壇の手入れにも取り組んでいます。「アドプト」とは「養子縁組をする」という意味で、緑に関するアドプト活動としては、市が管理する道路脇の植え込み等の清掃や植栽の手入れ、花壇作りなどを市民が自主的に申し出て行うものです。消耗品程度の物品の支給、ボランティア保険の加入、ごみ回収等の活動援助を受けながら、すでに多くの市民や市民グループが取り組んでいて、それは、「公有地における市民が作り出す緑」といえます。

道沿いガーデンについて紹介するこの冊子を手にとって下さった皆さんが、狛江で楽しみながら緑とかわる暮らしを広げていただけたら大変うれしく思います。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



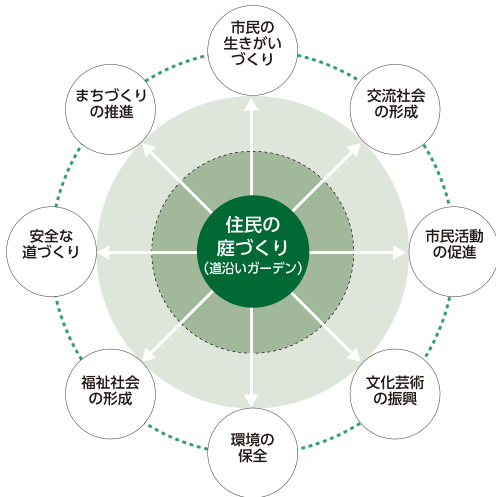
NPO法人日本公開庭園機構提唱の「道沿いガーデン」

「道沿いガーデン」との出会い

2011年（平成23年）5月の新聞に掲載された多摩地区の「オープンガーデン」に緑ワーキンググループメンバーが参加し、バラの美しい季節に個人宅のお庭を拝見しました。主催者のNPO法人日本公開庭園機構理事長佐藤哲信さん（当時）は、「オープンガーデン」とともに「道沿いガーデン」を提唱されており、後日ご自宅の庭や国立市等の接道緑化の事例を見学させていただきました。「市民の知力・労力・資力でつくる安心・安全な道づくり、まちづくり」という佐藤さんのお話に共感した私たちは、狛江での講演会を企画しました。

NPO 法人日本公開庭園機構の講演会資料より

■ 私たちの庭からまちづくり



私たちの庭から緑と花の道づくり、まちづくり

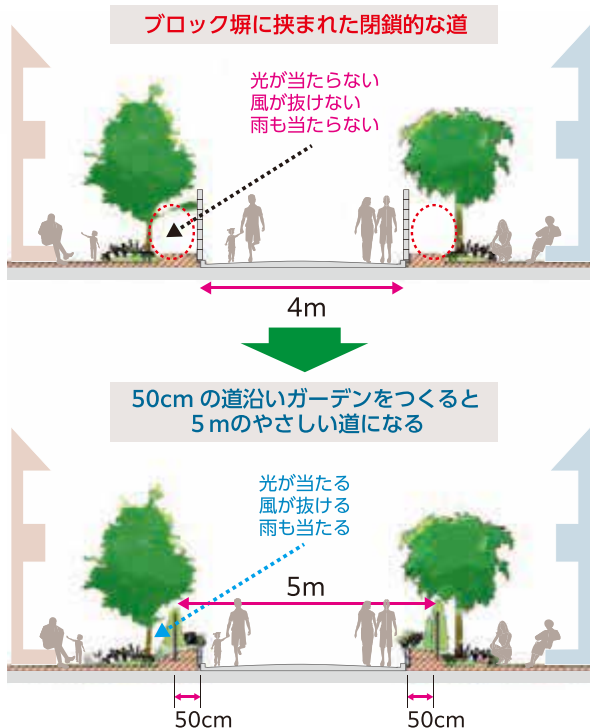
住宅の窓辺や道沿いの小さなスペースを緑化することで、優しい街並みと地域交流が作り出され、子どもたちの通学路の交通安全、防災・防犯など豊かなまちづくりにつながります。

ブロック塀から生垣へ

灰色のブロック塀に挟まれた道が続く街並は、無機質、閉鎖的、圧迫感、陰気、殺風景などネガティブなイメージを与えます。

そんな既存のブロック塀を撤去して生垣にする、さらに生垣の前に小さな植樹帯を設けて低木や草花をあしらう。このような接道部の緑化を「道沿いガーデン」と名付けて、積極的に地域のまちづくりに取り組んでみませんか？

例えば幅員4mほどの狭い道でも、両側の家の住人が50cmの道沿いガーデンをつくれれば、道行く人の視界では道の幅が5mに広がって見えます。さらに路面で行うガーデニングから道行く人との新たなコミュニケーションが自然に生まれ、身近な緑と人にふれあえるやさしい街並みがつくれます。



* 佐藤哲信さんは2013年2月にご逝去されました。（享年67歳）



狛江における「道沿いガーデン」の推進

佐藤哲信さんの講演会や現地見学を通じて、道沿いガーデンを狛江に広げていきたいと考えた私たち緑ワーキンググループは、市内の素敵な道沿いガーデンを市民に紹介する見学会を企画するとともに、狛江版「道沿いガーデン」の造成助成事業と散策によるまちおこし事業の提案を市に提出（2012年（平成24年））しました。



2013年 第1回道沿いガーデン見学会 写真展

2012年3月に開催された狛江市環境推進講演会「楽しいガーデニングで地域貢献と交流」チラシ

緑ワーキンググループの提案（一部抜粋）

新たに狛江版「道沿いガーデン」の造成費についての補助制度を市に要望



◇ なぜ私有地の緑化なのか

- ・公園スペースが少ない狛江市で、公園や防災拠点のためのオープンスペースを新たに確保することは難しい状況にある。
- ・一方、私有地ではあるものの、長く狛江の緑環境に貢献している生産緑地や樹林は、相続や後継者等の問題から今後も減少することは避けられない。
- ・市域において私有地の占める割合は大きく、市民が住宅敷地内で、自らの労力とお金を使って緑を豊かにすることが狛江市の緑被率向上、住環境の向上に大きく寄与する。

- ◇ **狛江版「道沿いガーデン」**：道路に接し、長さが3m以上かつ道路境界から奥行き30cm以上の空間を道路側に見せる形で造成し、植栽スペースとして草花や樹木を植えることで、四季を通じて、緑豊かな街並みづくりに資するものとする。

狛江市では、「道沿いガーデン」が緑の基本計画に位置付けられており、緑ワーキンググループが見学会を企画し、行政と協働で毎年実施しています。また、緑のまち推進補助金交付の対象は、これまでの生垣助成に加えて、植樹帯や花壇、さらにフェンス緑化などにも拡大されました（巻末参照）。

緑との触れ合いを楽しみ、緑と花の道づくり、まちづくりを私たち狛江市民の力で進めていきましょう。





私の庭、庭づくりの楽しみ

道沿いガーデン見学会でお庭を見せていただいた方々にお話を伺いました。

2013年(平成 25年) から道沿いガーデン見学会を実施し、延べ172軒のお宅を見学させていただきました。道沿いガーデンの調査活動で出会う方々は植物への造詣が深く、様々な緑化の工夫や知恵など興味深く、日々の手入れの様子を伺うのも楽しいことでした。以前訪問したお庭が

変わらず丁寧に手入れされているのを見ると、古い友人に再会したような懐かしい気持ちになり、また、多くの市民が緑を大切に守っていらっしゃることに力づけられます。

今回は改めて、9人の方に庭づくりのきっかけや大事にしていること、緑化の工夫などをインタビューさ



せていただきました。貴重なお話を聞かせていただき本当にありがとうございました。インタビューが10月ということもあり、梶村さんからご自宅の写真を1点、中村さんから赤いサボテンの写真を1点、横溝さんから最盛期のバラを中心に3点すべて、お花の最盛期の写真をご提供い

ただきました。ありがとうございました。それ以外の写真につきましてはインタビューに同行した森本が撮影いたしました。



第1回 見学会

梶村あつ子さん (和泉本町1丁目)

木製の塀の上には、四季折々の色鮮やかな花々で飾られたコンテナが置かれ、ハンギングも吊るされていて、道行く人達の目をいつも楽しませてくれます。サフィニアが咲いていましたが、パンジーに植え替えをされたところとか。花のことにお詳しいので伺ったら、梶村さんは、園芸が必修科目でも知られるK女学園大卒とのことで納得できました。パンジーなどは、種子からの

家の黄壁に映える
木塀の色鮮やかな花鉢と
ハンギング



写真：梶村さん提供

栽培もされているとのこと。ネットが張られていた鉢がありましたが、今年はチューリップの球根が初めてネズミに食べられてしまったので、その対策だそうです。



暑い時など鉢植えの水やりや手入れは、大変な作業ですが、通りがかりの人達との会話も楽しいと

のこと。木製のデッキで板厚のテーブルを囲んでの花談義は、南欧風の黄色の家壁と白い窓が映え、秋冷えの西日を受けながら、私達も楽しいひと時を過ごさせていただきました。(小尾記)

2013年(平成25年)の第1回道沿いガーデン訪問の時は、ブロック塀をセットバックしてアネモネの花などの花壇のある例として見学しました。今回、再訪した時には、セットバックはそのままに、ブロック塀の一部を中段から取り壊して、趣のある曲線の鉄製フェンスに替えられていました。柚子やイチジク・レモンなど、中庭の果樹類が通りからも見えるようになりました。更に、ガラスの温室が、一台分の車庫スペースに新設されました。狛江第五小学校を卒業され、最近転居で狛江市に戻られた中村さんが、ご自分で設計と施工もされ、約半年かけて完成されたとのこと。アルミ押出材を構造材として、屋根材や壁材には、ガラスを用いた本格的な温室です。温室の中は、多種多様なサボテン類が、大小の鉢に名札が付け

られて、きっちり収納されています。海外から種子を取り寄せることもあるとか。サボテン収集のきっかけは、小学生の時にご近所からいただいた一鉢だったとのこと。サボテンについての造詣には感服しました。棘がなく布をかぶせたような風変わりなサボテンやうちわサボテンをベースにした



サボテンの接ぎ木の方法も教えていただきました。春から夏にかけて、可憐な花が咲くのが楽しみとのこと。

(小尾記)

ブロック塀から 鉄製のフェンスに、 温室も新設



写真：中村さん提供

第1回 見学会
中村浩章さん(東野川2丁目)



土日市民発、シックなバラの道沿いガーデン

第4回 見学会

横溝智之さん(和泉本町3丁目)

写真3点：横溝さん提供



ベージュの外周をバックに青いルリマツリが咲き乱れるおしゃれな道沿いガーデン。20年前の移転新築を機に、自ら楽しむとともに道行く人にも楽しんでいただければとスタート。現役で週末月2,3回しか時間が取れない、半ばほったらかしですと笑っておられましたが、いえいえ洋風の素敵なお庭でした。

(1)ローメンテの秘訣 ①草花だけでなく樹木を追加：休

眼中に肥料をあげると手間いらず、枝垂れ桃などいいですよ、大きくなる木は要注意。②雑草除けに草花を活用：外(道沿い)花壇にハナニラ、きれいな品種3,4種を植えています。③丈夫な苗

を育て、販売するお店を追求。パンジー、ビオラ等をまとめ買いし、植えたままで大丈夫とか。

(2)バラ栽培のポイント 病虫害(主にアブラムシ、コガネムシの幼虫)対策として予め顆粒状の薬剤を撒く、うどん粉病には米ぬか活用など。鉢植えに比べ地植えは移し替えがなく手入れが楽。年に1,2回は早起きして消毒。バラへの愛着が伝わってきます…

(3)これから始める方に 大型園芸店でじっくり見たり聞いたりして、欲ばらずに気に入ったものから少しずつ…(林記)





ブロックの上のフェンスを外して 花壇に～道行く人の楽しみに

第2回・第3回 見学会

Aさん (駒井町2丁目)



道路沿いにたくさんの花が咲き乱れているAさんのお宅ですが元々は4段の低いブロックの上にフェンスがあり、玄関回りや道沿いにもっとたくさんの花を飾りたいとフェンスを外し、その高さまで後ろ側からレンガを重ねて花壇を作りました。そこに四季折々の花を飾っています。伺ったときは3本の苗から育てたというランタナが太くなり美しく咲き乱れていました。その上に一季咲きでありながら繰り返し咲くピエールドウロンサールのアーチがあります。

ランタナとバラを植えているレンガ作りの花壇は亡くなられたご主人が丹精込めて作られたそうです。バラのアーチもご主人の手作り、奥様に頼まれるとすぐに応じてくれたそうです。道行く人からはもちろん、ちょうどバスからも見えるので皆さん楽しみにしています。これからはブルームーンが咲いてきます。

始めた当初はご近所の方とカタログで種を取り寄せて楽しんでいらしたそうです。大きな素敵な鉢はお友達と専門店に出向き購入したものだそうです。お花を通して知らない人とお話できるのが楽しいとおっしゃっていました。お話しを伺ってどんどん元気をいただきました。

(櫻井記)



第8回 見学会

原 公江さん (岩戸北1丁目)



雑木の庭 季節の変化を楽しむ



車通りの少ない住宅地にある南向きの原さんのお宅、前面には道路からブロック3段積み上げた植樹帯に木々の緑が広がっています。2015年(平成27年)に家を見て替えた時、室内から緑を楽しめる庭にしたいと雑誌で見て気に入った「雑木、苔、和風の庭」を得意とする造園業者に設計施工を依頼。道路沿いに並ぶトキワヤマボウシは常緑樹で目隠しの役割、その奥にヤマボウシ、ジューンベリー、ヒメ

シャラ、ドウダンツツジ、クロモジ、ヒメウツギ、モミジなど多種類の樹木が配置され、木々の間を歩けるように飛び石が置かれています。庭の木々や鳥の来る様子を楽しみたいとカーテンは付けていないので、まるで林の中にいるように季節の変化を楽しむことができます。室内に飾るのは庭の花や枝と決めていらっしゃるそうです。訪問した時にはトキワヤマボウシに表面がぼつぼつした赤い実がたくさんなっていました。

植樹帯が狛江市の緑のまち推進補助金交付制度の対象となることは回覧版を見たご近所の方が教えてくれたとのこと。補助制度により、狛江の緑が増えることは本当にうれしいことです。(池座記)





第5回 見学会
坂田熙子さん（中和泉3丁目）

ベンチのある 道沿い ガーデン



道路から40センチほどの高さに設えられた花壇にはウメとヒメシャラの木、灯籠、庭石などが配され和風の庭の趣きですが、花壇の真ん中で存在感を放っているのは木製のベンチです。6年ほど前、病気で杖をついて散歩している方が、ブロックの端に腰を下ろしているのを見て、どうかしたいと業者さんに相談し設置なさったそうです。買い物帰りに荷物を置いて一休みする方を見かけてうれしく思っていたらっしゃるとのこと。「ベンチのある道沿いガーデン」として2018年（平成30年）狛江市の環境表彰制度で優秀賞を受賞されています。

お庭のもう一つの魅力は25本の鉢バラと12本の地植えのバラです。伺ったときは黄色いヘンリーフォンダ、白のイングリッシュアイズ、赤のロゼビアンなどのバラが咲いていました。バラは接ぎ木と挿し木で増やしています。夏には鉢植えのバラに毎日水やりが必要ですが、地下に造った雨水貯留槽でまかなえたそうです。環境への配慮もばっちり！ですね。

自作のトールペインティングのボードやスペイン旅行で買った絵皿、ハロウィンなど季節のデコレーションがあちこちに飾られて、かわいらしく、ほっこりするお庭です。（池座記）



人にやさしい、 地域に開かれた道沿いの庭



第8回 見学会
浅輪 等さん
（岩戸北3丁目）

(1)少しでも安全な道に：10年前塀に亀裂が入り、地震対策、通行の安全、景観の向上を兼ねて50～70cmセットバックし中が見えるフェンスに変更。空いたスペースには石を



配し、土部分に挿し木で増やしたローズマリーを11株植栽。黄や橙のマリーゴールドが見頃でした。

(2)プロとして安曇野（長野）の工場緑化で全国みどりの工場大賞を受賞。人にやさしい庭の原点でしょうか。

(3)広がる地域の輪：道行く人から「ローズマリーの葉を摘みたい」「山椒の実がほしい」「見事なクキイモおいしいですよ」と声がかかるとどうぞとお裾分け、高価な白イチゴも自由に採っていただく。野菜のほかイチジクなど多



数の木の実も。みなさんに喜んでいただければ何よりのごちそうですよと。懐の深いご夫妻です。庭や畑の手入れもお二人共同でなさるとか。

(4)故郷への思い：お庭には道祖神（p32写真参照）やひょうきんなカエル、布袋さまの置物が所々配置されています。伺うと安曇野には道祖神が多いそうです。またフェンスの内側にはイチイが何本も植えられています。きれいな赤い実が付き、長野ではミネゾと呼び、よく生垣にされているとか。等さんは高校まで信州で育った長野県人。ふるさと長野への思いが強く感じられました。（林記）



人とひと、心をつなげる 道沿い鉢植えスペース

第9回 見学会

(コロナ禍のため、見学会は中止し、メンバーで写真撮影のみ実施)

石井淑子さん(東野川4丁目)

パーキングスペースいっぱいに、花の小鉢・プランター・大きな鉢植えが品よく、所狭しと並ぶ玄関前のスペースは遠方からでもずっと目につく、華やかな魅力を放っています。車周辺の空スペースを活用して、花を育て始めたところ、近所の方や訪問客と種や苗のやり取りがはじまり、現在はスペースいっぱいに、一年を通して花がにぎわいを見せています。



第9回5月の道沿いガーデン見学会の折は、スイートピーとキルタンサスなどが、インタビュー当日は、ホトトギス・クレオメ(風蝶花-石井さんがそこのお宅の前を通りかかった折、素敵だったので名前を聞いてご主人からどうぞと頂いたそうです)・ヒヤクニチソウ・ハナキリン・三時に花が咲くという三時草など、なじみ深い花、珍しい花が多彩に咲き誇っていました。石井さんはしみじみ「コロナ禍でも花を通して触れ合いがあり、花に助けられました」とおっしゃっていました。「お花にお金はかけないで愛情をかけている」とも(名言ですね!)。石井さんのお人柄と、花のお世話にかかる愛情が近所の方々との交流をうみ 玄関前の鉢植えスペースを、ますます魅力的にしています。(大野記)



第9回5月の道沿いガーデン見学会の折は、スイートピーとキルタンサスなどが、インタビュー当日は、ホトトギス・クレオメ(風蝶花-石井さんがそこのお宅の前を通りかかった折、素敵だったので名前を聞いてご主人からどうぞと頂いたそうです)・ヒヤクニチソウ・ハナキリン・三時に花が咲くという三時草など、なじみ深い花、珍しい花が多彩に咲き誇っていました。石井さんはしみじみ「コロナ禍でも花を通して触れ合いがあり、花に助けられました」とおっしゃっていました。「お花にお金はかけないで愛情をかけている」とも(名言ですね!)。石井さんのお人柄と、花のお世話にかかる愛情が近所の方々との交流をうみ 玄関前の鉢植えスペースを、ますます魅力的にしています。(大野記)



川崎市にお住まいだった中尾さんは新居の土地を探している時に、野川に程近く、谷戸橋南広場に面しているこの地に巡り合い、一目で気に入ったそうです。若いころ見たカレンダーの、朝霧が立ち上る野川の写真に縁を感じたとも話されました。

5年前に新築した家の道沿いはベニカナメモチ、ヤマボウシ、レモンなどの樹木の中にローズマリーやチェリーセージなどがごく自然に配置されています。春は種から育てたビオラ、夏から秋は切り花としてコップに飾って根が出たペチュニアやコリウスなどが彩りを添えています。2階の木製テラスから張り出したプランターからもペ

入って…
決め手は「野川」、
狛江の自然が気に



第9回 見学会 (コロナ禍のため、見学会は中止し、メンバーで写真撮影のみ実施)

中尾明子さん(東野川4丁目)



チュニアの花がこぼれんばかり。北イタリア、南チロル地方を訪れた際に家々の窓辺が花で飾られているのを見て憧れ、木製のプランターを手作りし、テラスと同じ塗料を塗った力作。玄関先の赤い郵便ポストの周りの花の配置も素敵です。庭の奥にあったのは回転式コンポスター。切った枝や草を入れ、毎日回転させていると土になり、家庭菜園に生かしているとのこと。狛江の自然に囲まれて暮らしを楽しんでいらっしやいます。(池座記)



道沿いガーデン Q&A

庭づくりのヒント



Q 1 庭のスペースが十分ないのですが、「道沿いガーデン」をつくるためのヒントがありますか？

A 1 家の周りをじっくり見渡して下さい、活用できるスペースが見つかり、ミニ花壇を作ったり、花鉢を置く棚を作ったりするなど、ちょっとしたアイデアで庭づくりを楽しめますよ。

事例 1 (写真 A) ガレージの スペースを活用

レンガの花壇を作り、周りに8～10号鉢を並べてみました。また奥に棚を作り、クレマチス鉢を並べてみました。



写真 A

事例 2 (写真 B) 門前を生かして飾る

レンガで花壇を作り、周りは小さな花鉢を置いて道沿いガーデンを！ また、門周りに木製パーゴラ（つる棚）を作り、つるバラとクレマチスを絡ませて這わせています。

レンガの花壇



写真 B

道行く人の目を楽しませ、心を和ませてくれる道沿いガーデンは、ルールを守って楽しみましょう。例えば、道路上（側溝も道路の一部です）に植木鉢が置かれていたり、庭木の枝葉がはみ出したりすると、通行の妨げになり、思わぬ事故等に繋がる恐れがあります。気を付けて楽しんでいただけたら幸いです。

※道路とは、一般的な公道を指します。道路の種類によっては、私道など自由に使用できる場所もあります。

狛江市より

Q 2 プランターや鉢の古土の処分に困っています
が何か良い処分方法ありますか？

A 2 鉢やプランターの古土を多摩川や街路樹の
下に捨てたりするのはチョット待って！(土
を処分する場合は専門業者等への依頼が必要です。)

少し手間をかけて再利用しませんか。まず古土をふる
いにかけて古い根っこやゴミを取り除き、最低3、4日天
日干ししてください。その後、土の再生材(園芸店等で
購入)を10%加え、良く混ぜれば一般の草花には十分使
えます(バラにはお薦めできません)。



古土の天日干しと土の再生材



Q 3 道沿いのフェンスをつる性の植物で飾りたい
のですが、見栄えの良い育て方のアドバイ
スをお願いします

A 3 つる植物はしなやかで成長も早く、フェン
ス、アーチ、壁面に絡めて、またほふく性の
ものはグラウンドカバーにと活用の幅はかなり
広く、花を楽しんだり、紅葉を楽しむ事もで
きます。

つる性植物の種類は常緑樹、落葉樹の二つに分けられ
ます。常緑樹にはツルニチニチソウ、ハゴロモジャスミン、
スイカズラ、つるバラ(モッコウバラ、ノイバラなど)、
アイビーなどがあり、落葉樹にはクレマチス、ツタ類、ア
サガオ、アケビ、スイートピー、ゴーヤ、ブラックベリー
などがあります。

つる植物の誘引は枝を曲げやすく出来る12~1月が
適期です。まず剪定してから誘引する事です。自然に茂
るつる植物を楽しむのも良いですが、形よく仕立てるに
は剪定と誘引は欠かせません。

剪定は先端の枝葉、細く弱々しい枝、誘引する方向と
違う方向の枝など切り取り、誘引はつる植物を絡めたい
フェンス、アーチ、トレリス、壁面などにつるを上手く
導いていくため、枝の込み具合、長さを確認し、どの様
な形に仕立てるかを決めます。つるバラは枝を水平にす
ることで花付きが良くなるものが多いです。

つるを自由に這わせ、縦にも横にも空間を埋め常緑性、
落葉性のつるを選ぶことにより、花や紅葉を楽しめます。
ご自分の庭に合った場所を選び、どの様につるを這わし
ていくか

いろいろアイ
デアを出し
て楽しみま
しょう！



つるバラの誘引例

道沿いガーデンと オープンガーデンって どう違うの？

オープンガーデンが
ふだん閉じられた個人
の庭を限定公開するの
に対し、道沿いガーデ
ンは玄関先や道沿いに生垣や花壇を整備することで道行く人
がいつでも楽しむことができます。花と緑のまちづくり、地
域の交流、景観の向上は共通していますが、道沿いガーデ
ンは安全緑地ともいわれ、交通安全、防災上の安心を確保す
ることが特色です。

どちらも増やしていきたいですね。



オープンガーデン

始めてみませんか 楽しいガーデニングで地域貢献と交流 ～見学会の写真から

狛江市内でも多くの方がガーデニングを楽しみ、沿道やお庭に豊かな緑の空間を作り出しているようです。緑ワーキンググループでは「市民が作り出す開かれた緑」を広げたいと2013年（平成25年）から道沿いガーデン見学会を開催し、11コース延べ172軒の皆さんの庭づくりにかける思いに、参加者とともに触れることができました。

道沿いガーデン見学会のまとめの冊子を発行するにあたり、メンバーが手分けして改めて見学先を訪問し、承諾いただいた約130軒の道沿いガーデンについて、見学会当時の写真・コメントを掲載させていただきました（再訪で一部写真、説明を差し替えたものもあります）。見学会当日がお花の見頃とずれてしまい、残念な思いをされた方もいらっしゃると思いますが、お許しただければ幸いです。見学と掲載を快諾してくださった皆様、見学会にご参加いただいた皆様に心からお礼を申し上げます。

それぞれのお庭は、皆さんが楽しみながら心を込めて手入れされていて、通りかかる方に喜んでほしいという声を多くお聞きしました。道沿いガーデンの魅力を8つのタイプに分けてご紹介します。皆さんの様々な工夫、彩りや組み合わせのセンス、お手入れの様子などお楽しみいただき、道沿いガーデンづくりの参考にしていただければと思います。

緑ワーキンググループ一同



ほっとする、緑のスペース

最近の新築住宅では塀を造らず、家の周りを低木やグランドカバーで緑化するところが増えています。また駐車場をコンクリートで覆わず一部にリュウノヒゲのような植物を配している所も多く見かけるようになりました。緑が目やさしく、ほっと安らぎを覚えます。雨水循環など地球環境にも優しい環境配慮型の住宅都市をめざしたいですね。



Iさん 猪方

花壇の周りにリュウノヒゲ。ミヤコワスレや小花の鉢を置いています。



Mさん 岩戸北

フェンスを造らず、玄関周りや車庫の周りに木々を配してさりげない緑化をしています。



Tさん 東野川

駐車場の一部を板材と芝生にし、レンガ積みの植栽スペースを配置しています。



Tさん 駒井町

植木の手入れがしやすい高さ（腰をかがめなくてよい）の花壇です。今の時期はパンジーやコスモスなど秋の花が咲いています。



Sさん 猪方

縁石の上にたくさんの植木鉢。縁石を全部コンクリートにせず花壇にしています。



Mさん 駒井町

縁石上に植木鉢を置き、土を再生させながら主に宿根花を育てています。



Mさん 猪方

いろいろ工夫して植木鉢を並べています。



Oさん 西野川

角地の道沿いを緑で飾っています。カロライナジャスミンの垣根の作りも面白い。





Kさん 東野川

塀沿いの三角コーナーにはミニヒマワリなど季節の花を植え込んでいます。玄関脇のクレマチスも華やかです。



Kさん 岩戸北

道沿いの赤レンガの花壇に可愛い花々が色鮮やかです。



狛江第三中学校 元和泉

狛江第三中学校庭脇のスペースにパンジーなどが植えられています。暗くなりがちな側道をパッと明るくしています。



Kさん 和泉本町

角地のスペースに草花とベンチを配置し、休憩場所として提供されています。



Sさん 東野川

玄関前にはフッキソウなどのおしゃれな植栽。道沿いには季節に合わせてチューリップやマリーゴールドが彩りを添えています。



鉢植えとプランターでつくる、素敵な庭

玄関周りや駐車場のスペースを生かして、素敵なガーデニングを披露してくださるお宅は散歩の楽しみです。ブロック塀やフェンスに鉢植えを飾ったりハンギングしたり、皆さんの植物への愛情も一緒に楽しませていただいています。



Iさん 岩戸南

鉢植えのバラが所狭しと咲いています。



Kさん 和泉本町

塀の上にも花鉢、道沿いガーデンにも花、庭にはバラの花。



Sさん 和泉本町

地植えのノウゼンカズラと季節の花々、ベランダに広がるゴーヤが日除けの役割をしています。



Aさん 東和泉

プランターを配置して、道沿いに彩りを添えています。



Wさん 東和泉

素敵な道沿いガーデンが続いています。春先はビオラ、ノースポール、サクラソウなどが見事に咲き誇っていました。種から増やす花たちが自慢です。



Yさん 西野川

フェンスに鉢植えの花がたくさん飾られています。



Aさん 西野川

植栽と鉢植えの組み合わせで、道行く人を楽しませる豊かな緑。



Nさん 駒井町

プランター2段に色とりどりのパンジーを植えています。



Mさん 西野川

角地の道沿いのフェンスに植木鉢がぐるりと飾られています。



〇さん 駒井町

フェンスに植木鉢をかけて、道行く人を楽しませています。種から育てたものも多いです。



Nさん 元和泉

コンテナいっぱいと同じ色の花。センスと手入れの良さで季節の変わり目に見に行くというファンも多いです。



Yさん 猪方

数え切れない色とりどりのパンジーの鉢植えが鮮やかに、所狭しと並んでいます。



Nさん 西野川

店先に沢山の鉢植えを置いてお客さんをお迎えしています。



Yさん 西野川

庭先に色鮮やかな花の鉢植えやコンテナを配置して道行く人を楽しませています。



Sさん 西野川

たくさんの鉢植えの草花を店先に配して潤いを与えてくれます。



Tさん 和泉本町

ガレージ一杯のバラの鉢植えが洒落た家屋にマッチしています。



Iさん 東野川

駐車スペースを利用して、季節の花鉢で彩り豊かな空間を創出しています。



Sさん 東野川

白い外壁にバラの花がアクセント。たくさんの植木鉢は動かしやすく工夫し、屋上には家庭菜園とガーデンライフを満喫されています。



Iさん 西野川

家の周りの道沿い一杯の鉢植え。ほとんど種から育てています。



Iさん 和泉本町

ガレージのスペースを利用して、鉢植えの草花がいろいろ楽しめます。



Tさん 東和泉

デイサービス施設の玄関前に咲き誇る花々。利用者のみなさんをやさしく迎えます。手入れは職員のみなさん。優しい気持ちになれます。



Iさん 東野川

南アフリカ産の球根植物キルタンサスはじめ、見事な鉢植えの配置。手間を惜しまない花好きを見込まれ、鉢植えを預ける方もいるとか。



Mさん 東和泉

お店の前を彩る鉢花が魅力。市民の手作り品の販売や活動場所の貸し出しも行われています。50円でセルフサービスのコーヒーなどもいただけます。



Tさん 西野川

ガレージの周りに白やピンク、赤のバラの植木鉢、つるバラが窓辺一杯に咲きます。



Fさん 元和泉

玄関前のテラスに並べられた鉢植えの花々。通るたびに鉢が増えていきます。



Oさん 和泉本町

打ちっばなしのコンクリートの門構えに色とりどりの花が一杯。



広がる緑と草花

よく手入れされたお庭の緑と樹木はまさに市民の日々の営みによって作りだされる、わがまちの緑です。労力もお金も個人持ち！お住まいの方とおしゃべりしたくなってしまうですね。使わなくなった駐車スペースを畑にするのもトレンド？究極の地産地消です。



Kさん 猪方

顔やいろいろな絵柄の珍しい植木鉢の花々が玄関の壁やエントランス、庭を飾っています。



Yさん 元和泉

ブラシノキ（キンボウジュ）とピンクの野バラが人目を惹きます。お庭の中には柑橘類の木もたくさんあります。



Wさん 中和泉

「ガーデニングの基本は夫が農大のシニア向け講座で学んだもの。私も新しい趣味として楽しんでいます。窓辺のゼラニウムは少しずつ増やしています。水やりは自動水やり機です。」



Nさん 岩戸南

和風のお庭で菜園もあります。アヤメが印象的です。



Oさん 駒井町

広いお庭にハナミズキなどの木々や花々が咲いています。道行く人にも広く見渡せるようになっています。当日はお庭に入れていただきました。



Tさん 岩戸南

斜面にツゲ、サカキのボリュームのある植栽。カルミア、シャクナゲ、バラなどが彩りを添えています。お庭の中に入れていただきました。



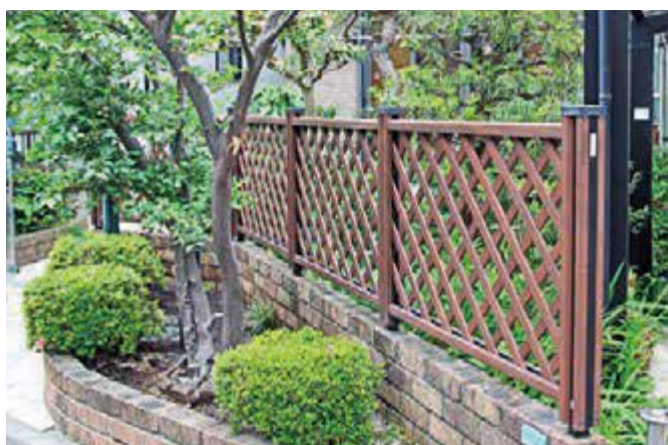
Wさん 東野川

広いお庭にマツ・サルスベリ・モミジなどと石灯籠が配置されています。低いフェンス沿いにパンジーなど季節の花も見えます。



Aさん 和泉本町

木製のベランダとポストが目を引く玄関周りに、すてきな緑。



Nさん 東野川

道沿いのエゴの木に白い花。シダレザクラやダイオウショウ（大王松）に趣きを感じる広いお庭です。



Uさん 猪方

ユキヤナギに始まってシロヤマブキ、モッコウバラと次々と花が楽しめるように植えられています。カクテルという名の赤いバラが咲いています。



Mさん 岩戸南

ラベンダー、バラのアーチ、低木など。お庭のタイルも奥様が敷かれたそうです。



Oさん 西野川

柿の木が玄関の上を横に延びて、珍しい門構えになっています。



Mさん 西野川

緑豊かな住宅地の一角。シダレザクラやバラなどたくさんの花に癒されます。



Mさん 中和泉

通りからもお花でいっぱいのお庭が見えます。ブルーのデルフィニウムが目を惹きます。



Kさん他 西野川

樹木や豊かな植え込みの緑が落ち着きを感じさせる住宅地です。



Oさん 岩戸南

緑道を行くと曲がり角にあります。いろいろなバラが咲いています。セッコクがもうすぐ咲きそうです。



Yさん 和泉本町

車庫と玄関周りの壁一面にバラを配した見事な道沿いガーデンです。



Mさん 中和泉

元イタリアンレストラン。ウッドデッキを飾るのは季節の花々です。



Yさん 東野川

道路境界にセットバックして、バラや緑の植栽スペースを家の設計と一体で配置しています。



Tさん 東野川

山荘風のお宅にマッチしたミモザ、モッコウバラが西日を遮ってくれます。



Yさん 和泉本町

塀もなく別荘風の立木と花の配置。半地下の温室もあります。



Aさん 東和泉

玄関までのアプローチを花に導かれて歩くと、かわいいガーデンが現れます。小路も手作り、保育園児や子ども達もよく見に来ています。



Mさん 元和泉

道沿いに癒しを醸し出す豊かな植栽。自宅レストランではおいしいお料理をいただくことができます。



Tさん 西野川

赤レンガの外観にマッチした美しい道沿いガーデン。



Iさん 東野川

玄関の両側に花の大鉢と道沿いに植栽スペースを配して緑の空間を創出しています。



Kさん 西野川

玄関周りに緑や花を配置、日当たりの良い緑の多い庭園です。



Oさん 東野川

玄関前の見事なソテツが印象的。テラスも生かして、大輪のバラがたくさん咲き誇っています。



Sさん 岩戸北

玄関までの石畳に沿って季節の草花。奥にはサヤエンドウも栽培して楽しいお庭。



Kさん 東野川

満開のバラ、地植えのモミジやキャラの木、大鉢の花々を楽しむ方々が声をかけてくれます。



Kさん 元和泉

バラの花が壁面いっぱいに咲いて甘い香りが漂います。ハンギングや地植えの花たちも素敵です。



Mさん 駒井町

種から丹精こめて育てた花苗が所狭しと彩りよく咲いています。



Hさん 岩戸北

敷地周りの変化に富んだ植栽と玄関回りのおしゃれな緑化が道行く人を楽しませてくれます。





Uさん 東野川

玄関の左側には、植栽スペース。右側の木やコンテナとも調和した配置にしています。



Iさん 元和泉

建物の壁面を覆うツタ、お店の前の植栽が魅力的。



Sさん 岩戸北

玄関周りのスペースを生かした緑の植栽が素敵です。



Tさん 西野川

南面の庭先に野菜を栽培、裏庭には和庭園をつくりました。



Nさん 東野川

種から育てた色とりどりのピオラが玄関周りを彩っています。フェンスのない、風が通り抜ける庭にレモンの白い花がかわいい。



人にやさしい庭

お庭は自己表現の舞台。敷地の一部をセットバックして緑化することで道行く人の安全性が増し、多くの癒しをもたらされます。提供されたベンチに腰掛けたり、立ち止まって花を眺めて力をもらい、また歩き出す、そんな光景も見られるのが道沿いガーデンの効用の一つでもあります。



Nさん 東野川

道路沿いの塀を設計段階からセットバックし、四季の草花が道ゆく人々をおもてなししています。



Sさん 中和泉

ベンチのある道沿いガーデン。花とともに絵皿や灯籠なども道行く人を楽しませています。北側はベニカナメモチの生垣です。



Aさん 駒井町

玄関前の花壇はご主人の手作り。フェンスの一部を外し縁石を最下部としたひな壇を作り、フェンスの中にブロックの高さの台を置き植木を飾っています。バスからも見えるので、皆さん楽しみにしています。バラやランタナ、ベニカナメモチの木などがあります。



Aさん 岩戸北

故郷の長野から取り寄せた道祖神がほっこりした雰囲気。通行人の安全のため、フェンスを後退させ、道沿いガーデンにしています。



Fさん 岩戸北

ブロック塀にツタを這わせて緑視率向上。巨大なウチワサボテンに注目。黄色い花が咲くのは6~7月。



Cさん 岩戸北

工場敷地のフェンス沿いに多数の彩りよい花々。誰もが使えるベンチ、水道、自動販売機が設置され、災害時にも対応されています。



生垣、大木のある風景

「垣根の垣根の曲がり角♪」きれいに刈り込まれたすがすがしい生垣は古き良き時代を感じさせます。和泉本町の通称お化けの木や東野川のお茶目なツゲのトリミングなどの遊び心にも思わずほっこり。地中に保水されていなければ大木は枯れてしまいます。大木や樹林があるまちの景色、守りたいですね。



Mさん 和泉本町

庭木数本に顔のトリミング、夜はライトアップされています。



Nさん 東野川

木々に囲まれた白い洋館。門の脇、ヤマボウシに白い花。



Tさん 東野川

アカマツ・クロマツ・エノキやヒマラヤスギなどの大木と手入れが行き届いた植栽が広がる日本庭園です。



Iさん 岩戸北

四つ目垣に囲まれた風情ある庭。



Oさん 東野川

椿の生垣が壮観。庭からは池の水音が聞こえ、「北多摩郡」の住居表示も残る歴史を感じさせる風情あるたたずまいです。



Kさん 岩戸北

手入れされた生垣とすくっとそびえるアカマツで、端正な街並みに寄与。



Kさん 東野川

長い石垣塀に生垣の植栽が美しい。和風の庭園にユスラウメ、シダレザクラなどが植えられ、メダカのいる水槽も楽しい！



Sさん 中和泉

トキワマンサクの垣根とオレンジ、白、赤のバラが見事。2階の窓辺の花はルピナスです。



Kさん 東野川

欧風の煙突のある住宅と広い庭を生垣で囲んでいます。ピンクの大輪のバラや車庫を飾るモッコウバラも素敵！



Kさん 和泉本町

生け花の挿木が大きくなったウメ（南京青梅）が西日を遮ってくれます。



Hさん 東野川

和風の庭を今風に生かした風情のあるお庭。梅の古木も魅力的です。



Mさん 岩戸北

風格のあるマツ、シダレザクラ、ツツジなどの生垣に囲まれた芝庭は緑にあふれています。



Iさん 東野川

ツゲの木のトリミングが見事！人面相が微笑ましく、思わず見とれてしまいます。



Wさん 岩戸北

金属性の骨組みに合わせて、バラの生垣を造成中でセンスのあるお庭が期待できそうです。



Hさん 岩戸北

ヤマボウシやヒメシャラの木々の間を風がそよぐ、明るく開放的な庭です。白や紫のホタルブクロの花も可憐に咲いていました。

緑豊かな住宅開発

緑豊かな敷地から高層マンションへ、畑から住宅地へと開発が進んでいます。将来世代に「水と緑の狛江市」を残すためにどうすればよいのかは、市民、事業者、狛江市がともに抱える課題です。マンション周辺に自主管理歩道をつくったり、緑豊かな住宅開発が行われることで住宅都市としての価値を高める、そんな未来を描きたいですね。



グランドメゾン 和泉本町

マンション周辺の自主管理歩道。手入れの行き届いた道にはベンチも置かれ、変化に富んだ植栽を楽しむことができる散歩道になっています。



Iさん他 岩戸南

もみの木児童遊園近く。宅地開発時の植栽で緑豊かな住宅地となっています。



Aさん他 東野川

塀やフェンスではなく、家の周りに花や木の植栽を配置し街並みに緑を創出しています。



Nさん他 和泉本町

緑豊かに続く住宅地で、それぞれ工夫を凝らしたお庭が続いています。



Oさん他 和泉本町

植栽とワインディングロード（曲がりくねった道）に沿った緑のまちなみです。



Iさん 中和泉

塀のないオープンな造りの新築住宅地。エゴノキ、トネリコなど涼しげな植栽と花のバランスが素敵です。

魅力あふれるバラの園

「花の女王」と称せられるバラ。バラの色、香り、形に魅せられた方は手間を惜しむことなく、愛しんでバラを育てていらっしゃいます。道沿いガーデン見学会でも夢のようなバラの園を数カ所訪問させていただきました。また玄関回りや駐車スペースに鉢でバラを育てる方も多く、毎年鉢を入れ替えるという話にはびっくりしました！



Sさん 和泉本町

路面から一段高い芝生の庭には、バラのアーチや種々の花。色彩豊かです。



Kさん 東野川

フェンスにモッコウバラ。一部刈り込んでいるのはピンクの大輪のバラを楽しんでもらうため。風の通りが良く、防犯にも役立ちます。



Hさん 東野川

フェンスにカクテル、アンジェラ等のバラ。芝生の庭にもバラやユリ、季節の花が賑やかに咲いています。



Sさん 西野川

緑の芝生の周りにバラやローズマリーを植えた外国のような洒落た庭園です。



Oさん 岩戸北

オレンジとピンク、2色咲きの大輪のバラが目を引きます。



Aさん 岩戸南

ドウダンツツジ、マツなどの和風のエントランス。奥にバラ園があり、見せていただきました。



Iさん 東野川

花と緑いっぱいのエントランスが素敵。様々なバラとハンギングの花々の共演が楽しめます。



Nさん 猪方

主にプランターや植木鉢でバラを育てています。



Kさん 猪方

バラが今を盛りに咲いています。当日はオープンガーデンです。どんなバラたちに出会えるでしょうか？



Oさん 岩戸北

高低差を付けた庭づくり。バラのアーチと50鉢ものバラが満開でした。





Nさん 東野川

玄関脇フェンスにモッコウバラ。西側、薄いクリーム色の外壁にピンクのバラが印象的です。



Sさん 岩戸北

車の通らない小道に面し、木柵越しに鉢植えと地植えの花々。バラが見頃でした。



Kさん 西野川

バラのアーチが見事。道沿いの手入れの良いつるバラも綺麗です。

タネや苗の交換を通して広がる地域の輪

庭先の草花の手入れをしていると、道行く人から声を掛けられることもあり、ちょっとうれしいものです。ガーデニングを通して、ご近所の方との会話や種や苗のやり取りなど、緑が人との交流、人のつながりをさらに豊かにすることも…。そんなお話をしてくださった方々のお庭の写真を集めてみました。



Mさん 和泉本町

白いホタルブクロなど珍しい山野草の鉢植えでいっぱいです。山野草のグループで分けたり、もらったりしています。



Kさん 西野川

道沿いからお庭の奥まで溢れんばかりの花や薬用植物。植物を分け合ったりして人とつながるのが楽しいです。



Fさん 元和泉

奥様が始めたガーデニング。退職なさったご主人との共同作業でバラのアーチや色とりどりの鉢花がきれいです。ご近所にも花を増やしています。



Sさん 中和泉

家の周りは花でいっぱい。苗の交換も楽しみの一つ。



Yさん 西野川

実のなる木は鳥が来るので楽しい。苗を友達にもらったりするのも楽しいです。



Iさん 西野川

花を育てることは楽しい。同時に人との交流も楽しいです。花をいただいたり、差し上げたり…剪定は友人にお願いしているそうです。

緑ワーキンググループの主な活動の紹介



設立年月：2000年（平成12年）11月。

活動目的：狛江市環境保全実施計画に基づく、緑の保全と創出の推進

活動内容：緑の保全について情報交換や提案活動を行うほか、2020年度（令和2年）より狛江市のアドプト制度によりこまえくぼ1234（狛江市市民活動支援センター）の花壇づくりを行うなど活動の場を広げています。

狛江の緑を守りたい！ ～まちを歩いて実態調査

2000年（平成12年）11月、狛江市環境保全実施計画に基づいて3つのワーキンググループが活動開始する中で、緑大好きメンバーが集まったのが「緑ワーキンググループ」です。狛江の緑の保全と創出を進めるために何をするか、活動テーマを決めるところから議論を重ねました。メンバーの共通認識は減っていく狛江の緑を何とか守りたい、そのために市民に関心を持ってほしいということでした。まずは生垣について調査開始。市内を6つの地域に分けてメンバーが分担して現地を



現地調査の様子

歩き、生垣のある家を訪ねてはお話を伺い、写真撮影を重ねました。2002年（平成14年）、写真展「素敵な生垣」を開催しました。その後テーマを広げ「大切にしたい狛江の木」「大切な農地」「大切にしたい樹林地」も同様に調査と写真展を実施。また、農協青年部と

の意見交換、体験農園の先進事例である白石農園見学（練馬区）と学習会（講師白石好孝さん）も開催しました。

樹林地を守りたい！ ～樹林地の公有地化

1988年（昭和63年）の市内調査では73カ所あったとされる樹林地が減っていく現状に危機感を持ち、樹林地台帳を基にメンバーが手分けして、所有者の方にお話を伺いました。樹林を維持するためには多大な経費が掛かるという現状や、相続が発生した際には手放さざるを得ないという所有者の声を伺い、狛江らしい緑である樹林地を市民としてどう守れるか議論。





いつまでも残したい樹林地（狛江のまち 魅力百選より）

『狛江市アクションプラン』で計画されていた樹林地購入について、市民からの提案をまとめることにしました。調査項目は「樹林地の広さ、保存状態、立地、活用の可能性、公開性（アクセス）」とし、「市民が楽しめる樹林地」「狛江百塚と語り継がれた原風景、古墳と樹林地のある風景を残す」という観点から、2007年（平成19年）8カ所の樹林地を市の購入候補として提案しました。

都道114号線沿道緑化の市民案提出

都道114号線（松原通り。田中橋交差点から狛江高校交差点まで）の建設に伴って、東京都が道路用地の残地を緑化する計画があり、その計画案を緑ワーキンググループで提案してほしいとの話が建設環境部（当時）からあったのは2008年（平成20年）9月でした。私たちは現地を数回、メンバーで歩く一方、トンボ池公園や神代植物園、



完成後の道路を歩く。狛江高校前、ベンチ設置の足元に段差があるのは危険では？と報告しフラットなつくりに変更された。

都道の緑化の先進事例（府中市都市計画道路3・3・8号）などを見学し、様々な植栽のあり方や樹種について学習し、意見交換をしました。緑化計画のコンセプトは①市内外の人たちの散策地域の一部とする②狛江市緑の基本計画に沿った緑地の拡大（計画面積約2,600㎡）③通過交通による環境悪化の緩和④コミュニティ空間と景観を創出する⑤計画づくりへの市民参加や緑地維持管理を通じた市民交流とし、沿道の20カ所の残地（緑地）について植栽や樹種を具体的にまとめました。西河原公民館での市民アンケートや現地見学会を経て、都道114号線沿道緑化の市民案を提出。東京都北多摩南部建設事務所には提案を誠実に検討していただき、2010年（平成22年）2月緑化計画調書が示されました。2011年（平成23年）3月、東京都の工事完了、一部アドプト制度を活用した市民管理も行われています。

柏市「カシニワ」視察：環境関連施設視察

2019年（平成31年）12月3日実施。メンバーから6名参加。柏市の「カシニワ」とは「柏（市）の庭」、「貸す庭」、つまり地域共有の庭のこと。空地の有効活用により、緑を増やしてまち全体を緑に囲まれたガーデンへという制度です。タイプ別に3つの「カシニワ」：①ペレニアルガーデン（地域の庭）、②古墳群のある樹林地（里山）、③ふれあい山野草の小道（オープンガーデ



古墳群のある樹林地（里山）見学



カシニワ
標示板



ペレニアルガーデン（地域の庭）見学

ン）を訪問しました。運営するボランティアのみなさんは、ガーデニング（里山）が大好きで、来園者や仲間との交流が楽しみという点が共通していました。

終了後「ボランティア養成講座」について議論。狛江でも類似の取組ができるといいねと話し合いました。



道沿いガーデン見学会

多くの方に
狛江市内の素
敵なお庭や沿
道緑化を知っ
ていただきた
いと 2013 年
(平成 25 年)



見学会のチラシ

から道沿いガーデン見学会を開催して
きました。メンバーがご近所や市内で
見つけた魅力的なお庭を中心に毎年 5
月に地域を変えて、徒歩 2 時間ぐら
いで回れる範囲のコースを設定しまし
た。面識もないお宅に見学のお願いを

という突撃訪問形式ですが、ほとん
どの方に快諾していただきました。見
学会の時に迎えて、参加者の質問に
丁寧に答えてくださる方も多く、植
物談義や緑化の工夫、さらには苗の
おすそ分けなど刺激的で笑い声あ
ふれる楽しい時間となりました。市
民同士の出会いの場ともなった見
学会は、メンバーにとっても学ぶ
ことの多い時間でした。



見学会では写真も撮影させていただ
き、後日こまエコまつりや市役所 2
階ロビー、西河原公民館などで写
真展を実施しました。

こまえくぼ 1234 (狛江市 市民活動支援センター) の 花壇を地域の庭に

2020 年(令和 2 年)2 月初旬、こ
まえくぼ 1234 (狛江市市民活動支
援センター) の玄関前の低木の植
え込みを季節の花咲く花壇にしたい
と、アダプト制度を活用して緑ワ
ーキンググループで改良と管理を行
うことにしました。中旬に現地の土
壌などを調査し
①魅力的な道沿いガーデンにする ②
ローメンテナンス・ローコスト…宿
根草や球根などを取り入れる ③農
薬は使用しないことを柱に、土壌改
良からスタートしました。

6 月は作業スケジュール作成、植
栽する花苗・低木の購入手続きなど
に追



メンバーによる現地調査



メンバーによる土壌の改良

われ、7 月初
めからメン
バー 3、4 人
が交代でバラ
用棚作り、バ
ラ植込み、花
苗・低木の植
栽を経て最終
チェックを終
えたのが 7 月
30 日。8 月初
旬に「こまえ
くぼ 1234 花
壇」をオープン
しました。皆で
楽しく、力を
合わせて作り
上げた緑ワー
キンググル
ープ初の道
沿いガーデン
、感慨無量
でした。



オープン以降、季節に合わせて植
えた花苗・低木も現在は 40 種
近くなります。皆さんも是非、
四季折々この花壇を見に来
てください。そして、ご覧に
なったご感想を伺い、意見
交換をしながら、私たちと
一緒に



お手入れをして頂
ければこれに越
した事はありません。

8 月からは毎週木曜日に当番 2 名
で管理作業(午前 9~11 時)を
することにして、現在に至って
います。夏場は必要に応じて
月曜日に水やりを行っています。



■ 狛江市環境保全実施計画 緑ワーキンググループ 活動の歩み(年表)

2000年 11月	狛江市環境保全実施計画推進委員会のワーキンググループの一つとして緑に関心のある市民が集まり緑の保全と創出の活動を開始。市内の緑の調査を行う。
2002年 4月	写真展「素敵な生垣」
2003年 4月	写真展「大切にしたい狛江の木」
2004年 3月	「狛江にも欲しい体験型農園」講演会と集い開催（講師 白石好孝さん・練馬区白石農園主）
10月	写真展「大切な農地」
2006年 6月	写真展「大切にしたい樹林地」
2007年 10月	樹林地公有化に向けての調査活動と提案
2008年 4月	狛江市緑化基金条例改正を求める陳情提出（基金の活用は緑地確保に限定）
2009年 3月	都道 114 号線沿道緑化の市民案たたき台提出 東京都北多摩南部建設事務所より都道 114 号線沿道緑化計画調書（2010年 2月）
2010年 10月	環境推進講演会「減りつつある多摩の緑 狛江の緑を考える～都市における緑の役割と保全」 講師 田端貞寿さん（千葉大学名誉教授）
2012年 3月	環境推進講演会「楽しいガーデニングで地域貢献と交流」 講師 佐藤哲信さん（日本公開庭園機構理事長） 「狛江市内のおすすめ道沿いガーデン写真展」（全地域）
6月	環境講演会「狛江のまちの庭園づくり」～私たちの庭からまちづくり～ 講師 佐藤哲信さん（日本公開庭園機構理事長）
10月	環境施設見学会（国立市の SATO ガーデン・日野市のオープンガーデン・安全緑地）
12月	「狛江版『道沿いガーデン』造成助成事業と『散策のまち』によるまちおこし事業の提案」
2013年 3月	東京都北多摩南部建設事務所に、都道 114 号線買収残地と周辺の整備についての要望書提出 第 1 回 道沿いガーデン見学会 5月 14日（和泉本町、東野川 21か所） 第 2 回 道沿いガーデン見学会 11月 5日（猪方、駒井町 15か所）
2014年 3月	環境推進講演会「道沿いガーデン・歩いて楽しいまちづくり」 講師 林好治さん（日本公開庭園機構理事長） 第 3 回 道沿いガーデン見学会 5月 20日（駒井町、猪方 14か所）
6月	環境推進講演会「道沿いガーデン 身近にふれあう緑のまちづくり」 講師 林好治さん（日本公開庭園機構理事長）
10月	環境施設見学会（八王子市「美し郷」、増田邸などのオープンガーデン、グリーンタウン高尾の道沿いガーデン）
2015年	第 4 回 道沿いガーデン見学会 西野川地域 5月 20日（和泉本町、西野川 1・2丁目 18か所） 26日（西野川 3・4丁目 17か所）
6月	市民環境ツアー 埼玉県横瀬町オープンガーデンの現地見学
2016年	第 5 回 道沿いガーデン見学会 5月 11日（中和泉 3・4・5 14か所） 5月 19日（岩戸南 3 7か所）
2017年 2月	環境推進講演会「道沿いガーデン～つなげよう ご近所の緑の輪」 講師 大滝暢子さん（ガーデニングデザイナー） 第 6 回 道沿いガーデン見学会 5月 15日（狛江駅～和泉多摩川駅周辺 17か所）
9月	緑ワーキング研修 小平市オープンガーデン制度についてヒアリングと現地見学
2018年	第 7 回 道沿いガーデン見学会 5月 14日（和泉本町 1・3 11か所）
2019年	第 8 回 道沿いガーデン見学会 5月 10日（岩戸北 17か所）
12月	環境施設視察研修会 千葉県柏市の「カシニワ」の現地見学
2020年 3月～	アドプト制度を活用してこまえくぼ 1234（狛江市市民活動支援センター）花壇の改良と管理を開始
2021年	第 9 回 道沿いガーデン見学会 5月 5日（東野川 4 21か所）コロナ禍のため写真撮影のみ 10月 緑ワーキング研修 パラの街・平塚市現地見学と「平塚花のまちづくりの会」との交流会

◆緑のまち推進補助制度◆

～緑がつづく道づくりをしてみませんか～

狛江市では、緑豊かなまちづくりのために緑化を行う方に対し、造成費等の一部を助成しています。生け垣等は災害防止等に役立つとともに、四季折々に道ゆく人たちの目を楽しませてくれます。

生け垣



生け垣

植栽時に樹高がおおむね1 m以上の樹木を石垣、塀等の代わりとして葉が触れ合う程度の間隔で1 m以上列植してください。対象経費は苗や用土の費用です。補助対象となる金額は、費用総額の50%又は1 m当たり10,000円のいずれか低い方となります。（上限300,000円）

植樹帯



植樹帯

植樹帯の奥行きを0.3m以上3m未満でかつ植樹帯の面積を1㎡以上にしてください。植栽時に樹高が0.3m以上の樹木等を、成木時において葉が触れ合う程度の間隔で1 m以上列植してください（生け垣を除く）。対象経費は苗や用土、植栽基盤を縁取るために設置するブロック等（道路面から0.6 m以下）の費用です。補助対象となる金額は、費用総額の50%又は1㎡当たり10,000円のいずれか低い方となります。（上限300,000円）

花壇



花壇

木本を除く観賞植物を植えてください。花壇の奥行きを0.3m以上3m未満でかつ花壇の面積を1㎡以上にしてください。対象経費は用土、植栽基盤を縁取るために設置するブロック等（道路面から0.6m以下）の費用です。観賞植物は経費対象外です。補助対象となる金額は、費用総額の50%又は1㎡当たり5,000円のいずれか低い方となります。（上限150,000円）

フェンス 緑化



フェンス緑化

多年生のつる樹木を、既設のフェンス1 m当たり5株以上植え付け、フェンスと垂直方向に0.3m以上を枝葉で覆い、枝葉が道路から見えるようにしてください。対象経費は苗や用土の費用です。フェンスの造成費用は経費対象外です。補助対象となる金額は、費用総額の50%又は1 m当たり2,000円のいずれか低い方となります。（上限50,000円）

- ★生け垣等の造成に伴うブロック塀の撤去についてもその費用の一部を補助しています。補助の対象となるのは道路に面したブロック塀です。
- ★生け垣等と道路との間に遮蔽物を設置しないでください。
- ★生け垣等が道路に最も接近する部分が、道路の外周から2mの範囲内にあるように造成してください。
- ★毎年度、2月末日までに申請してください。
- ★植栽後、工事後の申請はできません。植栽や工事を始める前に必ず環境政策課窓口にご相談ください。
- ★補助の対象要件等、詳しくは狛江市ホームページまたは環境政策課窓口へお問い合わせください。

登録番号(刊行物番号)

R3 - 49

道^{みち}沿いガーデンガイドブック
～ 緑^{みどり}つながるまちをつくろう！

令和4年3月発行

発行 狛江市
編集 緑ワーキンググループ
狛江市和泉本町一丁目1番5号
電話 03(3430)1111
印刷 有限会社みやざき印刷
頒布価格 無償

